



Festival des FILMS MONDE

WORLD FILM Festival

第40回モントリオール世界映画祭  
最優秀芸術賞

ワールド・コンペティション部門

アムステルダム国際映画祭  
最優秀長編映画賞

グランプリ 金の女神賞

オークランド国際映画祭

最優秀監督賞 最優秀助演男優賞  
最優秀撮影賞 最優秀助演女優賞

ナントラヴァンシヴァージ国際映画祭

最優秀監督賞  
最優秀賞観賞

ラムズゲート国際映画祭  
正式出品

ロンドン国際映画祭  
正式出品

スウェーデン  
インデンペンディ国際映画祭  
正式出品

バイユー国際映画祭  
正式出品

ラムズ国際映画祭  
正式出品

ARFF国際映画祭  
正式出品

レイクビュー映画祭  
正式出品

コロンビア国際カルト映画祭  
正式出品

# たたら侍

すべてから逃げた僕に残された宿命――



青柳翔

小林直己 田畑智子 石井杏奈

高橋長英 甲本雅裕 宮崎美子 品川徹 でんでん

橋爪遼 菅田俊 音尾琢真 早乙女太一

中村嘉葎雄 佐野史郎 豊原功補 山本圭 笹野高史

AKIRA / 奈良岡朋子 / 津川雅彦

原作・脚本・監督：錦織良成 エグゼクティブ・プロデューサー：EXILE HIRO

統括プロデューサー：森広貴 製作：森雅貴、熊谷正寿、寺島ヨシキ、青山理、坂本龍、田中康人、飯田雅裕、プロデューサー：田嶋隆、清水祥、鈴木大介 Co.プロデューサー：安川唯史、アソエイプロデューサー：藤井部太郎  
音楽プロデューサー：池畑伸人 音楽：長岡成真 美術監督：池谷仙克 撮影：佐光昭 照明：青角莊介 録音：西岡正巳 編集：日下部元孝 スクリプター：森澤剛 VFXプロデューサー：浅野秀二 アクションディレクター：飯塚吉夫 助監督：清水勇気  
衣裳デザイン：小川智史 装飾：谷田祥紀 アートプロデューサー：高橋努 キャスティングプロデューサー：増田祐司 キーフンディ：俳優担当：原田信 制作担当：島越道昭 ラインプロデューサー：柳田隆樹  
宣伝デザイン：小川雅志 宣伝統括：林賢宏 宣伝：篠原大樹 配給統括：宮崎聡

主題歌：「天音（アマオト）」(avex music creative) 作詞：EXILE ATSUSHI 作曲・編曲：久石譲 歌：EXILE ATSUSHI

製作：「たたら侍」製作委員会 (LDH JAPAN / GMO 各ネットグループ / エイベックス・ピクチャーズ・ロラン / 青山商事 / AOL Pro. / 朝日新聞) 配給：LDH PICTURES 制作プロダクション：LDH JAPAN / 渡縁 制作協力：ユニークアレンジズ / ENTER the DEE ©2017「たたら侍」製作委員会



英雄でも戦士でもない。真の侍たちの姿がここにある。

tatara-samurai.jp



1300年の時を経て今日まで伝わる  
 唯一無二の鉄「玉鋼(たまはがね)」を生み出す技「たたら吹き」。  
 伝説の地・出雲でその伝統を守ることを宿命づけられた男が、  
 侍にあこがれて旅に出た。  
 のちに人はその若者を「たたら侍」と呼んだ。

戦乱の世に、ひとりの未熟な青年が過ちを繰り返しながら  
 生きる道を探し続ける物語。  
 日本伝統の匠の技と、気高い精神を継承することの大切さを、  
 美しく雄大な映像と共に描き出す。

# 力とは何か 本当の強さとは何かを 僕は知らなかった。

戦国末期、1000年錆びない鉄を作るといわれる幻の村があった。  
 出雲の山奥にあるその地「たたら村」では、  
 古来より門外不出の高度な鉄作り「たたら吹き」によって  
 出鉄鋼(いづものはがね)と呼ばれる貴重な鋼が作られていた。  
 天下無双の名刀を作り出すその鋼を求め、  
 刀匠ばかりでなく諸国の大名に取り入れる商人たちも躍起になっていた。

“たたら吹き”を取り仕切る村下(むらげ)の息子伍介は、  
 一子相伝の技を受け継ぐ宿命だったが、幼い頃、鋼を狙う山賊に村が襲われて以来、  
 強くなって村を守りたいと思うようになっていた。

ある大名のための鋼を求めて村に訪れていた商人の惣兵衛から、  
 農民でも侍になれる時代がきたことを知らされた伍介は、  
 「村を出て侍になりたい」と村の掟に背いて旅に出る。  
 しかし、そこには厳しい現実だけが待っていた。

ブロックバスター映画として世界に通用する作品。  
**是非、オスカーに出すべきだ。**

モントリオール映画祭創設者プレジデント  
 —— セルジュ・ロジーク

現代的で新しいビジョンを持った作品。  
 古典的な黒澤や溝口の映画は侍を伝説化するもの  
 と違い、侍の裏側にある真実を追求している。

モントリオール映画祭審査員長  
 —— ピエール＝アンリ・ドロ

※カンヌ国際映画祭・監督週間創設者

5.20 SAT 全国公開